



群私幼事務局 / ☎371-0854 前橋市大渡町1-10-7
群馬県公社総合ビル6F 私学センター内
TEL.027-280-6206 / FAX.027-280-6208
URL・https://www.gunshiyou.jp/
発行人 知久 賢治・編集人 三津田 敬子



CONTENTS 2026年(令和8年)2月18日発行

特集 永年勤続表彰者の紹介 …… 2

- 群私幼の研修会特集 …… 3～5
- その他の研修 …… 6
- フロムぐんまちゃん …… 7
- 幼児教育センターより …… 7
- 我が園の食育活動 …… 8
- お知らせ …… 8



幼保認こ連合会研修大会

令和8年1月20日(火)、群馬県公社総合ビルホールにおいて、群馬県幼保認こ連合会研修大会が開催されました。本研修大会は、もともと群馬県私立幼稚園・認定こども園協会(群私幼協会)が単独で群私幼研修大会として企画していたものですが、今年度より群馬県幼保認こ連合会(群馬県私立幼稚園・認定こども園協会、群馬県保育協議会、群馬県認定こども園協会)による3団体の共同開催として実施されることとなりました。

当日は2講座が行われ、第1講座では、大阪総合保育大学 学長・大方美香先生より「こどもまんなか実行計画 一 保育の質を考える 一」と題した講演があり、国の動向を踏まえながら、これからの保育・幼児教育に求められる視点についてご講義いただきました。

続く第2講座では、国立重度知的障害者総合施設のぞみの園 地域支援部 公認心理師・臨床心理士の星野亜希子先生より、「発達が気になる子への理解とサポート～保護者とともに～」と題し、現場での具体的な関わりや保護者支援の在り方について、実践的なお話を伺うことができました。

今年度は、群私幼協会が中心となり、講師の選定から演題、会場設定までを担当して実施しましたが、来年度は群馬県保育協議会が主となって開催する予定となっています。(研究部長/守山)

キレイな氷みつけた！



永年勤続表彰者の紹介

令和7年度 群馬県私立学校教員等永年勤続顕彰者

No.	園名	職名	氏名	年数
1	明星幼稚園	園長	熊田 俊道	31
2	ポケット幼稚園	教諭	柴崎 公美	31



熊田 俊道



柴崎 公美

令和7年度 全日本私立幼稚園連合会永年勤続表彰者

No.	園名	職名	氏名	年数
1	藤岡開成幼稚園	園長	田沼 まさ子	40年以上
2	第二あさひ幼稚園	教職員	永井 由美	
3	第二あさひ幼稚園	園長	竹内 市也	30年以上
4	藤岡開成幼稚園	教職員	田沼 芳子	
5	ポケット幼稚園	教職員	柴崎 公美	20年以上
6	ポケット幼稚園	教職員	齋藤 睦子	
7	ポケット幼稚園	教職員	小林 さおり	
8	甘楽こひつじこども園	教職員	高畑 麻奈美	
9	榛名愛育幼稚園	教職員	喜美候部 久美子	
10	第二あさひ幼稚園	教職員	高田 宏美	
11	あさひ幼稚園	教職員	丸橋 薫	
12	桐生大学附属幼稚園	教職員	宗像 律子	



永井 由美



竹内 市也



柴崎 公美



齋藤 睦子



小林 さおり



高畑 麻奈美



喜美候部 久美子



高田 宏美



宗像 律子

次世代育成研修会（経営研修会）

令和7年10月22日(水) 群馬県公社総合ビル

「令和7年度の処遇改善等加算申請への対策」

安岡 知子 先生

明星幼稚園 熊田 俊道

本研修には、設置者・園長先生はじめ将来の園経営候補者や事務担当者等約50名の受講者があり、講師の先生より、令和7年度の処遇改善等加算に関する最新情報と、申請手続きのポイント等について解説をいただきました。研修内容は、今年度から1本化された新しい処遇改善等加算制度の目的等概要や区分1・2・3の加算要件等の解説に加えて、実際の公定価格単価表をもとに、受講者各自が電卓を使いながら加算額を計算するなど実践的なものでした。職員の処遇改善を通して長く働くことができる職場環境を構築し、教育・保育の質の向上を図るという制度の目的への理解が深まり、さらに実際の事務においても、誤申請を防ぎ正確な申請手続きへつながる有意義な研修となりました。



特集

群私幼の研修会

新規採用教員研修会⑦

令和7年10月31日(金) 太田いずみ幼稚園

「保育参観」
「学年別研究協議」
「全体会・まとめ」

慈教幼稚園 横瀬 由奈



今回の研修は太田いずみ幼稚園で保育参観を行いました。園舎・園庭・グラウンド全てが広く綺麗でとても良い環境だと感じました。園舎の廊下に廃材置き場があり、保育者だけでなく普段から子どもが目にする事ができ、自ら興味を持ち製作などに取り組む事ができると感じました。更に遊びを見るだけでも子ども達が自由に自主性

やアイデアを出し行動に移す事ができる環境だと感じました。

学年別研究協議では、4歳児の分科会に参加し色々な園の先生方と課題や悩みを共有して互いに解決策を考えました。その中で「自分が抱えている課題はすぐに解決するものではなく一生の課題になる」という言葉が印象に残っています。他園の先生方とお話することや他園の保育を参観する事で得られるものが多く、とても良い貴重な経験をする事ができました。この学びを今後の保育に活かしていきたいです。



看護師等研修会

令和7年11月11日(火) 群馬県公社総合ビル

「園児の健康管理」

中林 洋介 先生
井上 俊 先生

元総社幼稚園 原沢 奈緒子

園での子ども達の怪我や病気の対応についての講義の中で日頃の子ども達の健康管理の大切さを再認識し、講義だけでなく実践を取り入れた研修で深い学びとなりました。

痙攣時「あかさたな」（慌てない・家族への連絡・撮影・直ちに119・（安全な場所で体位を）直す）の対応方法を念頭に置き、まずは落ち着いて対応していこうと思います。



AEDの使い方研修では、救急車到着までの8～10分間を6名の大人で命を繋ぐ胸骨圧迫の実践研修の中で想像以上に体力が必要とすることや人を呼び、みんなで人命救助にあたることの大切さを肌で感じる事が出来ました。いざというときに本当に出来るのかという不安も残る中で講義と実践を通して自信と課題を感じ、継続的な復習と訓練の必要性を実感した研修会となりました。

特集
群私幼の研修会

第二次設置者・園長研修会 1日目

令和7年11月18日(火) ホテル木暮

「保育とICT～持続可能な園経営～」
グループ協議「持続可能な園経営について考える」

小池 義則 先生

駒寄幼稚園 押江 恵美子

基調講演では当協会と「保育の質・保育者の資質向上に関する連携協定」を締結し、研修動画を無料で提供いただいている株式会社コドモン代表取締役の小池義則先生から「保育とICT～持続可能な園経営～」ということで御講話いただきました。少子化が進み待機児童は解消されたが定員割れという園経営の危機的状況の中で、持続可能な園経営は「園のらしさの定義・存在意義の明確化」「収益・運営の安定」「選ばれる園となる魅力づくり」にあり、また他の機関と連携し、より地域に必要とされる「地域子育て支援拠点」への変革も求められているこ

と。さらに、これまでの保育ICTの役割は主に園内業務の省力化ツールとして普及したが、それらの園運営のデータを今後は政府・自治体・小学校・児童発達支援施設・児童相談所などのデータ連携基盤となる方向に拡大していくだろうとのことでした。講演を受けてグループ協議では、各園の現状やICT化の取り組み等について意見交換を行いました。



第二次設置者・園長研修会 2日目

令和7年11月19日(水) ホテル木暮

「特色を活かした持続可能な学校経営を考える
～レスリングチームの運営を通して～」
「AIと保育のこれから」

柳川 美麿 先生

木村 創 先生

長野幼稚園 原 徳応

今回の講義を通して、保育の根幹にあるのは子どもに寄り添う「親心」と、人と人との信頼関係であると改めて感じました。子ども一人ひとりに誠実に向き合い、その思いを共有できる職員と協働することが、安心できる園づくりにつながると考えます。

また、AIは保育を代替するものではなく、記録や情報整理などを支える道具として活用すべきであると感じ

ました。導入にあたっては現場で無理なく運用できるかを見極める必要がありますが、職員間の対話や発想を促す点は大きな利点があります。人間らしい感情や関係性を大切にしながら、人とAIの特性を生かした保育を実践していきたいと思いました。



群私幼指定園公開保育

令和8年2月5日(木) 三山幼稚園

「実施園報告」

三山幼稚園 関口 真由美

公開保育当日には、保育者の皆様や理事の先生方、合わせて61名の方にご来園いただき、誠にありがとうございました。当日は、子どもたちが普段通りに活動する姿をご覧いただくとともに、本園が大切にしている「子ども一人ひとりの思いを大切に、主体的な育ちを支える」という保育観や、環境構成・関わりについても見ていただきました。

分科会では、各クラスが抱える問いを中心に、参加者の皆様の園での取り組みや課題が共有され、さまざまな視点から学び合う有意義な時間となりました。今回の公開保育はECEQ®方式で実施いたしました。戸惑いも

ありましたが、コーディネーターの榎渕先生・須田先生から助言をいただきながら、日頃の保育を客観的に振り返る貴重な機会となりました。

この公開保育をきっかけに、改めて自分たちの課題と向き合い、保育の質の向上に努めてまいります。



「参加園報告」

すみれ山幼稚園 丸山 早苗

先生方の笑顔があふれ、子ども達に自然に溶け込む温かい雰囲気が印象的でした。子どもの落ち着きや集中力、子どもと先生が目標を共有する姿勢、思いが動くのを待つゆとりなど、日々の積み重ねが今の姿につながっていると感じました。

分科会では、ECEQ®に基づいて保育を振り返り、先生自身が楽しむことが子どもの「やってみよう」を引き出すことにつながるという気づきもありました。年長の子ども会議では、意見を否定しない関わりや、言葉に

ならない思いを引き出す大切さが話し合われました。

子どもをよく見ることで小さな変化に気づき、思いを引き出すきっかけはつくれます。一人ひとりの良さを見つけ、丁寧に寄り添っていきたく感じました。



東部地区研究委員研修会

令和7年9月5日(金) 太田いずみ幼稚園
令和8年1月9日(金) いなり幼稚園

「保育者の語り合いから見えてくる幼児理解」～子どもの成長に関わる記録～ 「室内で楽しく遊べる手作りおもちゃ」 ～暑い時期・雨天時など戸外で遊べないときにどんな室内遊びができるか～

大間々南幼稚園 桑原 菜々穂

私は東部地区の研究委員として、年2回の研修会に参加させていただきました。

第1回目は「保育者の語り合いから見えてくる幼児理解」の研修を受けました。写真や動画などの媒体を駆使した上で、いろんな保育者が多面的にその子を見ることが、その子の新しい一面が見えてくることに繋がると感じました。

第2回目は「室内で楽しく遊べる手作りおもちゃ」の研修を受けました。先生たちで手作りおもちゃを持ち寄って作り方や遊び方を説明し、素材の新たな使い方を知ることができました。担当学年ごとでの話し合いでは、同じ学年の担当ならではの話があり、有意義な時間となりました。

この2回の研修会では、課題や新たな保育の在り方が見つ

かり、たくさんの学びを得ることができました。この研修会で学んだことを、自分の保育に活かしていきたいと思います。



西部地区研究委員研修会

令和7年10月24日(金) 高崎商科大学佐藤幼稚園
令和8年1月21日(水) 堤ヶ岡幼稚園

「質の高い幼児教育とは」 「質の高い幼児教育とは～保育に生かせる引き出しを増やせ～」

高崎天使幼稚園 吉田 悦子

西部地区では7年度、8年度にかけて「質の高い幼児保育とは」をテーマに掲げ、第1回は自分の保育を振り返り、自信を持って取り組んでいることや悩みなどについてグループ討議を行いました。第2回は各園で実践しているおすすめの手遊び、誕生会の出し物、年齢に応じた表現遊びや集団遊び、クラス作り生きる活動などを持ち寄り、実践を交えながら和やかな雰囲気の中で学び合いました。子どもの発達を踏まえ、先生の願いが込められた遊びや、既存の遊びにも工夫がプラスされていたりと、みなさんで明日の保育に繋がる沢山のヒントを共有し、生きた保育を感じられた研修はとても有益なものでした。このような研修会をみなさんの地区でも行い、保育の引き出しを増やしていけたらと思います。



中部地区研究委員研修会

令和7年10月27日(金) 清心幼稚園
令和8年2月3日(水) いい幼稚園

「運動会どんなことをしていますか？」～今後の運動会に向けて～ 「明日から使える発達に応じた運動あそび」 ～子どもが伸びる声かけを通じて～

上田 誠 先生

山王幼稚園 吉田 菜生

主体的な保育への転換期で行事の内容が変わる中、第1回は運動会に焦点を当て自園の運動会を紹介し合いました。他園の先生方と交流する良い機会になったと同時に、資料を準備するのにあたり運動会のねらいや内容をまとめることで、自園の理念などを再確認することができました。第二回は講師の上田先生にお招きし、明日から使える発達に応じた運動遊びや、発達に寄り添った声掛けなどをご教授いただきました。運動遊びは参加者が実際に行うことで、様々な動きを

経験することの大切さや、楽しく参加できるような声掛けを学ぶことができました。今回の研修は常任委員として参加し、企画・運営に携わりました。このような貴重な機会を頂けたこと感謝し、これからの保育にも生かしていきたいと思っています。



新規採用教員研修会⑧

令和8年1月21日(水) オンライン開催 Zoom利用

「園と小学校の連携・接続」
「乳幼児を中心とした児童虐待の現状と教員の役割」
ワークショップ「一人一人の幼児の評価と指導要録の記入について」
ワークショップ「研修のまとめと今後の取組」

大島 崇 先生
 入澤 康行 先生
 大島 崇 先生
 大島 崇 先生

むつぎ幼稚園 恩田 実夢

今回の研修では、園と小学校の連携、児童虐待への対応、指導要録の記入について学びました。特に指導要録について、日々の記録を書く中で、幼児の姿を一つの捉え方だけで判断せず、様々な視点から捉えることで、それぞれの子どものよさが見え、そのよさを生かした指導につなげていくことができると学びました。児童虐待については、児童相談所の役割や対応の流れを知ることができ、少しでも気になる様子があった時には、一人でなく、園内や関係機関と共有することが大切だと感じました。また、小さな変化にも早く気づき、関係機関と連携して対応することが子どもを守るために大切であると思いました。今回学んだことを、今後の保育や記録に生かしていきたいと思います。



その他の研修会



第40回全日本私立幼稚園連合会 設置者・園長全国研修大会

令和7年10月27日(月)・28日(火) 茨城県水戸市・水戸市民会館

記念講演「大切な忘れ物～昭和世代の独り言～」
 研究講座(教育・振興・経営・認定こども園の4分科会)

有國 浄光 先生

群馬県幼保認可連合会・研修大会

令和8年1月20日(火) 群馬県公社総合ビル

第1研修「こどもまんなか実行計画―保育の質を考える―」
 第2研修「発達が気になる子への理解とサポート
 ～保護者とともに～」

大方 美香 先生

星野 亜希子 先生

群馬県幼稚園教育課程等研究協議会 第1回・第2回

令和7年6月27日(金)・10月30日(木) オンライン開催 Zoom利用

講演「幼児教育と小学校教育の円滑な接続の推進
 ～環境の構成の視点から～」
 講話「主体性をつなぐ幼児教育と小学校教育」

平手 咲子 先生

太田 紀子 先生



「子ども性暴力防止法」の施行について

教育・保育等を提供する事業者に対し、従事者による児童対象性暴力等を防止する措置を講じること等を義務付ける「子ども性暴力防止法」が、令和8年12月25日より施行されます。イギリスのDBS（犯罪歴開示を担う機関の略称）を参考に制度設計されたため、報道では「日本版DBS」と呼称されることが多いです。

本法での義務付けの1つに、事業者が、従事者の性犯罪歴を確認するというものがあります。前回の記事で「特定免許失効者等に関するデータベースの活用」についてご案内いたしました。データベースでは採用候補者が「児童生徒性暴力等を行ったことにより教員免許状が失効した者」に該当するかを確認するのに、本法では内定者と現職者について性犯罪歴の確認を行うこととされています。

性犯罪歴の確認は、こども家庭庁が整備するシステムを使用して行います。設置者におかれましては、従事者の性

犯罪歴を確認するためにシステム登録をしていただく予定ですので、案内がありましたらご協力いただきますようお願いいたします。性犯罪歴が確認された場合、教育・保育等の業務に従事させないなどの防止措置をとる必要があります。詳細は今後ガイドライン等で示される予定です（案はこども家庭庁ホームページで公表されています）。

国から情報が提供されましたら随時発信しますので、皆様におかれましては本法の趣旨についてご理解いただき、子どもに対する性暴力根絶に向けた取組みを、より一層進めていただきますようお願いいたします。（群馬県私学・青少年課）



幼児教育センターより

エウレカ!

群馬県総合教育センター
幼児教育センター長 中村 崇

通勤中の出来事です。山道を抜け、民家が数軒出てくるあたりのところを車で走っていると、前を走っている車が止まりました。横断歩道を、三年生くらいの小学生が一人渡ります。ランドセルの両側には、巾着袋がぶら下がっています。少々重い足取りで、歩き始めます。私の前の車の前で一瞬止まり、少し伸びた丸刈り頭をびよこんと下げます。数歩歩くと、反対車線の車の人と目を合わせるようにして、また頭をびよこんと下げます。何気ない日常の一場面ですが、なぜか私の心は揺さぶられ、感動などと簡単な言葉では言い表せないような、何とも言えない感情がわいてきました。これは何なのだろうとしばらく考えました。そして気付いたのです。この小学生の人柄、そして内面の動きが一瞬のうちに理解されたように感じたからなのだろうと。だから「素晴らしい行いを今朝見たので、みなさんも見習いましょう」的な視点とは全く違う理解の仕方でした。

私は以前から、このような子どもの行動・表情からの内面理解はいかにして行われ、それをどのように表したらよいかを考えてきました。現象学や文化人類学を基に

思考をめぐらす中で、人間は他者の存在があるから、自己が発見され確認されるということに気が付きました。至極当然なことですよ。人間は他者や環境を経由して自己が立ち現れてきます。その現れ方は様々ですが、背景を含む他者や環境との関係性の中にしか、その本質的な意味理解の手掛かりはないのではないのでしょうか。その思考の過程で思い付いたのが、ドラマや小説等の登場人物の関係性を表す「相関図」が活用できるのではないかというアイデアです。

以上の思考過程を経て生み出されたのが「相関図型記録」です。友達とのつながりや関係性を記録していく中で、一人一人の心の動きに目を向け子ども理解を深め、個々の「発達課題」を把握します。当センターの幼児教育領域で研究を行っている特別研修員の先生が、この「相関図型記録」を活用して保育実践研究を行いました。その成果を群馬県総合教育センターのWebページに掲載しますのでご覧いただき、みなさんの保育実践にご活用いただけると嬉しいです。

我が園の食育活動

～子どもに人気の給食メニューや食育で取り組んでいることなどを特集していきます～

「伝説のカレー」

のびのびこども園 杉島 恵

「いただきます！」
調理室とランチルームのある給食棟「ふれあいホール」から元気な声が響きます。毎日子ども達に関わりながら楽しく給食を作っています。人気のメニューはやっぱりカレー！給食開始当初から勤続38年の調理員が作り続ける変わらない味に、子ども達や卒園生、保護者の方からも「食べたい！」と言われる伝説のカレーです。

「特別なルーですか？」いえ、「オーモントカレーです。」隠し味は長年の子ども達への愛情。カレーの日はいつもより大きな「ごちそうさま！」が聞こえます。



お知らせ

ニューリーダーの会より

「野外体験活動について」

ニューリーダーの会では発足以来、野外体験活動を大切に考えてまいりました。ここ数年は会として野外体験活動を行えずにありましたが、今回、11月に野外炊事とネイチャークラフトを木の実幼稚園の遊びの森で行いました。

野外炊事ではまず竹の切り出しから行い、竹の飯盒、器、コップを皆で協力して作りました。そして、カレーを作り竹の飯盒でご飯を炊くという体験をしました。また、非常食体験として、普段園で常備していても、なかなか食べる機会のない非常食を食べるという体験も行いました。

ネイチャークラフトでは富士見幼稚園の柳晋先生、あさひ幼稚園の竹内智恵子先生をお招きし、自然物を使った制作活動、竹トンボ作りを教えていただきました。

今回、森という自然の中で普段なかなかできない体験を通し、改めて野外活動の素晴らしさを実感することが出来ました。

今後も会としてこのような活動を行っていきたいと思います。沢山の方に体験していただけたら幸いです。

(木の実幼稚園 金子 礁)



賛助会員の紹介

団体

No	法人名・社名等	役職名	代表者名	会費(口数) ※1口50,000円
1	株式会社インスパイア	代表取締役	松山 裕也	1
2	株式会社ニシハタシステム	代表取締役	西畑 恭二	1
3	株式会社スマートエデュケーション	代表取締役社長	池谷 大吾	1
4	興禅寺	代表役員	権頭 俊澄	2
5	株式会社大雄建設	代表取締役	大久保 興志雄	1
6	千株株式会社	代表取締役社長	千葉 伸明	1
7	株式会社 アスカ	代表取締役	加藤 秀明	1

個人

No	氏名	職業	勤務先名称	会費(口数) ※1口10,000円
1	権頭 俊澄	僧侶	興禅寺	3

本協会の趣旨をご理解頂き、賛助会員としてご支援・ご協力を賜りましたこと心より感謝申し上げます。

次号206号は、令和8年6月29日(月)に発行予定です。



編集後記

永年勤続表彰を受賞された先生方、おめでとうございます。

今号では初めて受賞された先生方をご紹介させていただきました。以前は冬季研修大会で表彰伝達式があり受賞された先生方を知る機会がありましたが、コロナ禍の影響でその機会もなくなっていました。他園の先生方の功績を知ることは励みにもなるので、来年度以降もご紹介させていただきたいと思っております。

今号で今年度の発行は最後となります。お忙しい中、原稿執筆にご協力いただきました先生方には、改めて心より感謝申し上げます。来年度もどうぞよろしくお願い致します。

(三津田/記)